

6月18日～20日

尾瀬沼 尾瀬ヶ原

和田 千恵

山名	尾瀬沼・尾瀬ヶ原	山行名	尾瀬沼・尾瀬ヶ原散策			
ルート	18日：登山口・大清水→一ノ瀬→三平峠→尾瀬沼・尾瀬沼ヒュッテ（泊） 19日：宿→長蔵墓→沼尻→見晴（昼食）→温泉小屋→三条の滝→温泉小屋（泊） 20日：宿→東電小屋→龍宮→山ノ鼻（昼食）→下山口・鳩待峠・・・戸倉					
山行日	2019年6月18日～20日	天候	晴れ時々曇り			
参加者	リーダー： 和田千恵 男性：下坂、藤村	サブリーダー：藤村敏幸 女性：大西、和田	合計： 4名			
ルート概略図 略 大清水から鳩待峠まで36km。 登山口までの移動：高速バス利用 6/17 高速京田辺 22:55→新宿 6:35 6/18 新宿 7:15→大清水 11:10 6/20 戸倉 15:30→新宿 18:50 新宿 23:20→ 6/21 高速京田辺 6:50	コースタイム					
	地名	時：分	地名	時：分		
	18日大清水	着	11:10	温泉小屋	着	12:15
		発	11:45		発	12:30
	一ノ瀬	着	13:10	三条の滝	着	13:50
	三平峠	着	14:30		発	14:10
	尾瀬沼	着	14:50	温泉小屋	着	15:50
	尾瀬沼ヒュッテ	着	15:30		発	20日 7:05
	19日尾瀬沼ヒュッテ	発	6:50	東電小屋	着	7:45
	長蔵墓	着	8:00		発	8:10
	沼尻	着	8:30	龍宮小屋	着	9:05
		発	8:50		着	11:00
	見晴	着	11:00	山ノ鼻	発	12:00
		発	11:30		鳩待峠	着
			発	13:20		
			戸倉	着	13:50	
山行報告	和田 千恵					
<p>6月の尾瀬は、水芭蕉が満開だろうと、去年から決めていた梅雨時の山行でした。天気予報では後半は雨、仕方ないとは言うものの、去年の3日間のあの青空を思い出しては、内心降らずに鳩待峠までと願っていました。</p> <p>17日の深夜バスで新宿経由大清水に到着し、山に入りました。一ノ瀬までは砂利のだらだら道、登り出したら澄んだ流れの川沿いを歩きましたが、さすがに前夜のバスの疲れで、足取りはゆっくりでした。三平峠につくまでには岩清水が喉を潤してくれ、時々見える広がる山々の景色が青くきれいでした。</p> <p>尾瀬沼に着いて水面が広がり、尾瀬沼ヒュッテまでもう一息、燧ヶ岳の山容が沼に映り目の前に開いたときは素晴らしい感嘆、そして水芭蕉の葉がまだ小さく、群生したせせらぎに癒されました。6月に初めて来た甲斐があったというものでしたが、この後下山するまでの36キロの道全てで水芭蕉の群落とその他可憐な花たちが、平日の静かな尾瀬を満喫させてくれました。夏休みや連休の人出とは全く違った、人に合うのも珍しい尾瀬でした。</p> <p>宿に着くと、ほっこりして明日に備えて早々に就寝しましたが、突然の緊急地震速報で起こされました。山形の地震が尾瀬でも蛍光灯が揺れるくらい感じられました。</p> <p>翌朝は、予定より早く出発し、尾瀬沼の周りを散策、長蔵小屋を建てた平野長蔵さんや長男の長英さんの墓を参拝して、沼尻まで。長蔵小屋が運営している茶店では湧き水のコーヒーをいただき、広島出身の店員の方がファミマの商品開発をしていて定年後に長蔵小屋に再就職した方で、これから行こうとしている三条の滝の周辺やここでしか咲かない花のことを、教えてくれました。去年</p>						

燧ヶ岳を降りた長英新道の終点、見晴まで歩き、おにぎりで昼食。長英新道は長蔵さんの長男の名前がついていたと知りました。他にも人の名前がついている山道などあることを知り、何回となくのほほんと来ていたのだと、反省でした。温泉小屋に荷物を預け、三条の滝へは、思いもかけず急坂でぬかるみ、散策とは言えない登山道でした。途中人気はなく、蛇がとぐろを巻いているし、猪か？鹿？の足跡も確認しましたし、平均所要時間ではとても無理な道でした。しかし、三条の滝のその水量の豊富さと滝壺から水煙が立ち上り、他のすべての音をかき消すもの凄さは、来て良かったー！と、4人全員の声が一つになった時でした。

温泉小屋に戻ると4時を超えていて、ほっとしたものでしたが、宿泊は私たちのみ、食事時には小屋の庭とも思える広がる湿原に鹿が草を食べに現れました。お風呂は温泉、尾瀬で山の温泉とは贅沢な！夕食にはワインで乾杯、いい1日でした。

3日目の朝も晴れ、午後からは夕立と、東電小屋の主人。ここでも、燕が飛び回っている下で、尾瀬ヶ原の景色と至仏山を見ながらの朝のコーヒブレイク。新たな花に囲まれ、いつも水芭蕉が挨拶してくれ、ヨッピー橋を渡り、龍宮小屋でマムシ草を観察、山ノ鼻まで龍宮現象を見たり、逆さ燧ヶ岳をカメラに収めながら、これぞ散策を堪能しました。鳩待峠までは登りの1時間ほどでしたが、戸倉でも日帰り温泉でさっぱりして新宿に戻り、バスタ新宿では思いもかけず、0さんの息子さんと一緒に夕食の小樽のお寿司をいただいて、翌朝高速京田辺に帰りました。3日間雨に合わず、頼りないCLデビューでしたが皆さんのお陰で無事帰ることができました。ありがとうございました。

ヒヤリハット 無し。

下坂 元人

初めての尾瀬。梅雨時にもかかわらず、一度も雨具を使用することなく3日間の山行を終えることができました。晴れ女のCLに感謝いたします。今回の山行を経て、いくつか分かったことがあります。まずは、自分の志向として、「歩く」ことが好きなんだなあということです。3日で36.4km、とても楽しかったです。次に、頂上を踏む、いわゆるピークハントをどうしてもしたい訳ではない、ということです。尾瀬の両側にある百名山、燧ヶ岳、至仏山を見ても、「登らなきゃ」とは思いませんでした。そして、自然が好き、特に滝が好きだなあと再認識しました。三条の滝、この時期が、雪解け水のおかげで一番の水量とのことです。水煙が立ち込める迫力満点の大瀑布でした。感動しました。3日間ご一緒させていただいた和田さん、藤村さん、大西さん、ありがとうございました。尾瀬、また行きます。

大西 良子

尾瀬ヶ原散策の三日間、湿原を歩くと思わぬ動物と出会ったり一面に咲き誇る花々に自然環境の素晴らしさに感動いたしました。さらに三条の滝では水量の多さから迫力のある瀑布に皆で感動しました。楽しい尾瀬ヶ原山行ありがとうございました。

藤村 敏幸

尾瀬に何回も訪れる人を飽きさせない素晴らしい沢山の景色があることがよく分かる山行でした。何気なく映した写真も後で見れば素晴らしい絵はがきとなりました。平日山行でほとんど誰もいなく、尾瀬沼の木道をゆっくりと歩き、四方の山々の景色を眺め、尾瀬にのみ咲く花を觀賞し、足もとを流れる透き通った川に驚き、湖面に映る燧ヶ岳や至仏山の写真を撮り、3日間楽しみました。これから咲き始める水芭蕉から、すでに涸れ大きな葉っぱになったものや、川岸に少し可憐に咲く様や、沼地の縁に群生しているものなど多様な水芭蕉を存分に見ました。多くの貴重な植物が残るこれほど大きな高地の沼地が手つかずに、今まで保存されてきたことに感心しました。自然を守るため、最近はこの山小屋でも見なくなった強力達が、信じられない重さ(約70kg)の荷物を担ぎ、木道を歩く姿を幾度もみました。同行した皆さんありがとうございました。



尾瀬沼フュッテから望む燧ヶ岳



浅湖湿原



川岸に咲く水芭蕉



尾瀬沼をバックに



落差約80mの三条ノ滝



どこまでも続く木道



尾瀬ヶ原をバックに



尾瀬沼の木道



竜宮吸い込み口



リュウキンカ



燧ヶ岳



チングルマ



源五郎堀を進む



純米吟醸水芭蕉というスイーツを持ち



米袋3個を担ぐ強力